

豪州政府の次期汎用フリゲートの共同開発・生産に向けた 官民合同推進委員会（第1回）議事要旨

1. 日時

令和6年12月13日（金）1800－1900

2. 場所

防衛省（A棟11階第1省議室）

3. 出席者

（防衛省）

中谷大臣、増田次官、齋藤海幕長、石川装備庁長官、西脇審議官、今吉装備官（海）、坂本装政部長、嶺プロ管部長、佐々木総括官（海）、平田海幕防衛部長、星海幕装計部長、洲桃国装課長、西村事業監理官（艦）、石原事業監理官（艦）付

（関係企業）

泉澤三菱重工業社長（当時）、江口同防衛・宇宙セグメント長、三木同艦艇・特殊機械事業部長（当時）、高松同副事業部長、甲村同副事業部長（当時）、高水三菱電機海上防衛システム営業部部長、伊藤日本電気グローバル・イノベーション営業グループ部長、松尾日立製作所第三営業部部長、錢野ジャパン マリン ユナイテッド艦艇戦略企画部部長（当時）

（関係省庁）

小杉内閣審議官、松尾外務省総政局審議官、藤崎財務省大臣官房審議官、荒井経産省通商政策局長、今井国交省大臣官房技術審議官（海事）

4. 議事概要

（1）中谷大臣挨拶

- 本日はお集まりいただき感謝申し上げます。各位の御努力により、この度、豪州次期汎用フリゲートの最終候補に、我が国の艦艇が選定され、本日より、増田次官と三菱重工の泉澤社長共同委員長とし、官民一体となって推進するための「官民合同推進委

員会」が立ち上がるが、略称は「官民」としたい。

- 本件は、官民が一体となって進めることが極めて重要であり、本日お集まりの防衛産業各位の高い技術力とこれまで蓄積された経験、推進力を有する政府、そして我が国の技術力を結集し、本件の成功を期すため始動する。まさに「今後、いかにすれば採択が実現するのか」、産官が一体となり、豪州側に魅力的な提案をしていくため、この場を通じて、活発な議論がなされることを期待する。
- さらに、本件を成功させるためには、特に政府内においても一体となって取り組んでいく必要がある。内閣官房国家安全保障局による関係省庁の取りまとめ、外務省・経産省・財務省による各大臣からの働きかけ、国交省による造船事業支援など、関係省庁による本件への積極的な支援をお願いしたい。
- 先日、自分（中谷大臣）も横須賀において「もがみ」型護衛艦を視察した。従来の護衛艦の範疇を超え、最先端の技術を駆使して建造された艦艇であることを、この目で直接確かめた。豪州に対して、世界で最良の新時代の護衛艦であると、自信を持って提案できる非常にすばらしい艦艇である。このことは、豪州のマールズ副首相兼国防相と会談した際に直接説明している。引き続き、自分（中谷大臣）自身も積極的にアピールしていきたい。
- 結びに、「もがみ」は、漢字で書くと「最上」。最も素晴らしい、英語でいうと「The Best」。豪州にとって「ベストな選択」となる提案ができるよう、官民一体、オールジャパンで取り組んでまいりたい。各位の積極的な取組をお願いしたい。

（２）増田次官挨拶

- 本日はお忙しい中、関係省庁、そして我が国防衛のパートナーである防衛産業にお集まりいただき感謝申し上げます。官側の委員長としてご挨拶申し上げます。
- 豪州は我が国にとって「特別な戦略的パートナー」であり、日米同盟に次ぐ大切な国。その関係は、防衛面では、政策・情報・運用、そして次に装備における協力を広げようとしている。
- 本件プロジェクトは大変重要であり、本件を通じて日豪関係だけでなく日米豪、そしてインド太平洋地域の平和と安定につながるプロジェクトであると認識。

- 本件を成功させるためには、関係省庁と我が国防衛のパートナーたる防衛産業の各位が、本委員会を通じて官民一体、そして、戦後の歴史においてははじめてのことであると思うが、ワンチームとなって豪州側に働きかけていきたい。

(3) 泉澤社長（当時）挨拶

- 民側の共同委員長として活動させていただくのでよろしく願いたい。豪州の次期汎用フリゲートの最終候補として我々が建造している「もがみ」型護衛艦の能力向上型が残ったことは嬉しく思う。
- 海外への装備品移転が我が国の安全保障戦略上、大変重要なものであるということは、我々も肝に銘じていきたい。
- 国内事業とは異なり、海外移転については様々な課題があることも承知。このことについては、大臣、関係省庁、そして民側各社とよく相談をしながら、一つ一つ課題を解決してまいりたい。ご指導、ご鞭撻をお願いしたい。

(4) 事務局説明

事務局より、委員及び関係省庁出席者の紹介をしたのち、事業概要及び今後の進め方について報告。

(5) 意見交換

事務局から、事業概要及び今後の進め方を踏まえた意見を求め、齋藤海上幕僚長、関係企業及び関係省庁から発言があった。

(6) 閉会

石川防衛装備庁長官より閉会の挨拶があった。

(以上)